

浚渫兼油回収船「海翔丸」H28熊本地震における支援活動

■「海翔丸」の入浴支援

平成28年4月14日、熊本県熊本地方で最大震度7の地震が発生し、多くの被害が出ました。後に、大規模災害復興法の「非常災害」に指定される本災害に対し、国として全力で対応する方針が示されました。

九州地方整備局においても様々な支援活動を行うなかで、避難所での生活、水・ガスの供給停止等による入浴支援要請があることを受け、浚渫兼油回収船「海翔丸」を熊本県の三角港へ派遣し、入浴支援を実施しました。

入浴支援にあたっては、地元自治体等の協力を頂きながら可能な限り広範囲の方々に実施のお知らせを行うとともに、別途陸上支援を行う8名の職員を派遣し、受付（入浴用品の提供）、船内誘導等の支援を行い、安全かつ円滑な実施に努めました。

平成28年4月26日から28日の3日間で30名の方が利用され、利用者からは「度重なる地震で、家では安心して湯船に入ることもできなかった。久しぶりにゆっくり浸かることができた」などの声を頂きました。

熊本県三角港で入浴支援活動に従事する「海翔丸」



九州地方整備局関門航路事務所撮影

基地港（北九州港）から出港



入浴支援状況（受付）



入浴支援状況（乗船誘導）



入浴支援状況（船内誘導）



提供した入浴施設

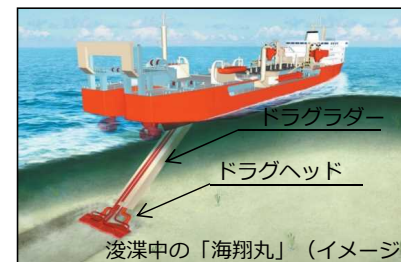


（全写真 九州地方整備局関門航路事務所撮影）

■「海翔丸」の概要

「海翔丸」は、航行しながら浚渫または油回収を行う日本最大級の大型浚渫兼油回収船です。

浚渫は、24時間3交代制で関門航路南東水道地区において、先端部のドラグヘッドと呼ばれる吸い込み口から海底の土砂を吸い上げ、泥艙に積み込み、土砂処分場へ運搬・土捨てを行っています。



油回収は、海上に大量の油が流出する事故が発生し、出動要請された場合は浚渫作業を中止し、現場へ急行して作業を行います。

最近では、平成27年1月3日、山口県萩市沖付近にて確認された浮遊油に対し、緊急出動して回収作業を行いました。

島根県沖で海上浮遊油回収作業に従事する「海翔丸」



第八管区海上保安本部美保航空基地撮影